

# 再評価結果

担当課：高速道路課

担当課長名：中神 陽一

<b>事業名</b>	かんえつ じょうえつ しなのまち じょうえつ 関越自動車道上越線(信濃町～上越JCT)			<b>事業区分</b>	高速自動車国道	<b>事業主体</b>	東日本高速道路㈱	
<b>起終点</b>	自) 長野県上水内郡信濃町大字野尻 至) 新潟県上越市大字中屋敷					<b>延長</b>	38km	
<b>事業概要</b>	関越自動車道 上越線は、長野道・北陸道・関越道とあわせて広域的なネットワークを形成することにより、上信越地方の沿線地域の産業、経済、観光等の発展に重要な役割を果たす道路である。							
S60年度事業化		S60年度都市計画決定		H3年度用地着手		H5年度工事着手		
<b>全体事業費</b>		約1,930億円		<b>事業進捗率</b>		75%		
<b>計画交通量</b>		9,900～10,200台/日						
<b>費用対効果分析結果</b>		<b>B/C</b> (事業全体) 1.3  (残業) 1.1	<b>総費用</b> (残業)/(事業全体) 374/3,011億円 <b>事業費</b> :252/2,557億円 <b>維持管理費</b> :122/454億円		<b>総便益</b> (残業)/(事業全体) 394/4,013億円 走行時間短縮便益:396/3,451億円 走行経費減少便益:-18/271億円 交通事故減少便益:16/292億円		<b>基準年</b> 平成24年	
<b>感度分析の結果</b>		残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C = 0.9 (交通量 -10%)    B/C = 1.2 (交通量 +10%) 事業費変動 : B/C = 1.1 (事業費 -10%)    B/C = 1.0 (事業費 +10%) 事業期間変動: B/C = 1.1 (事業期間 -1年)    B/C = 1.0 (事業期間 +1年)						
<b>事業の効果等</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保(当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線又は新たなバス路線が期待できる)</li> <li>国土・地域ネットワークの構築(当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する)</li> <li>災害への備え(緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する) 他11項目に該当</li> </ul>						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>		<p>新潟県：上信越自動車道の信濃町IC～上越JCT間は、暫定2車線の対面通行であることから、正面衝突による痛ましい死亡事故や行楽期の渋滞が多く発生し、豪雪地であるため降雪による安全な交通に支障を来すなど、安全性と定時性の確保が問題となっております。また、本路線は、日本海側と太平洋側の国土軸を繋ぐ高速交通ネットワークを形成しており、大規模な災害が発生した際には、緊急輸送路としての役割を担う重要な道路であります。住民の安全・安心に不可欠な「命の道」として、一日も早く本路線の4車線化を完成するため、より一層の事業推進を図られたい。</p> <p>長野県：本事業による暫定2車線区間の4車線化は高速道路に求められる産業、経済生活、文化を支え、高速性、安全性、緊急性、快適性、定時性の確保に大きく寄与する極めて重要な事業と認識しています。事業継続を図るとともに、早期供用に向けた事業の推進を要請します。</p>						
<b>事業評価監視委員会の意見</b>		特になし						
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>		平成23年の平均交通量は11,900台/日であり、過去3年間(H21～H23)に234回の渋滞が発生している。						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>		平成9年10月に信濃町～中郷間、平成11年10月に中郷～上越JCT間が暫定供用。残事業の内容は4車線化工事。						
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>		暫定2車線供用であるが、既に4車線分の用地取得が完了している。						
<b>施設の構造や工法の変更等</b>		新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。						
<b>対応方針</b>		事業継続						
<b>対応方針決定の理由</b>		以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
<b>事業概要図</b>								

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。